



Chutoku Group

まちと未来をキレイにする仕事。

株式会社ポータルハートサービス



株式会社 中特ホールディングス

経営企画・未来開発・企画広報・CSR推進室・総務管理・CS営業

中国特殊株式会社

株式会社 吉本興業

株式会社 リライフ

株式会社 藤井興業

株式会社 ポータルハートサービス

株式会社ポータルハートサービス
スタッフ：12名（すべて女性）
業種：遺品整理事業・各種片付け

やまぐち女性活躍応援団
地域シンポジウム in 周南
代表取締役社長
篠田 直美氏 発表
(2022年11月11日)



運命の仕事「遺品整理」との出会い

私は、2013年に「遺品整理 新規事業立ち上げに伴うスタッフ募集」に応募し、(株)吉本興業のパートとして入社、コツコツと積み上げて、2018年に(株)ポータルハートサービスを設立、それと同時に社長に就任しました。

入社当時、下の子供は3歳で、就職活動に苦戦する中、運命の募集記事「遺品整理新規事業」の文字を見つけました。

私は、前職は映画で広く認知されるようになった湯灌納棺師をしていました。湯灌納棺師と遺品整理士は仕事の内容は違っても故人様と遺族を思う気持ちは同じです。そこで不採用続きで意気消沈、すごく落ち込んでいた気持ちに火がついて、「遺品整理をやってみたい」と遺品整理士の資格取得の勉強を始めました。



自分の経験を活かし、スタッフが働きやすい環境づくりに注力

私を雇って
絶対損は
させません！！

パート入社から社長就任と聞けば、順風満帆な人生と思われるかもしれませんが、当時は営業も未経験、しかも小さい子どもは病気になりがち、そのたびに休まざるを得ない状況に、申し訳無い気持ちでいっぱいになりましたし、女性社員が少ないこともあって周りからは色々と言われたりもしました。

しかし、私は、面接時に「雇って損はさせない」と豪語したので、「私はやるから」とすべて跳ね除けていました。

意思を強く保てたのは、なぜかというと親だから、そして、遺品整理がどうしてもやりたいから、自分が発言したことに責任を持ちたいから、今でもそう思っています。

弊社は、私と社員2名、他は全てサポートスタッフ（パート、アルバイト）で構成されています。

サポートスタッフのまとめ役として、リーダーを一人設置し、意見の吸い上げ、現場対応のフィードバックをしてもらい、また、スタッフからも意見・提案を遠慮なく出してもらうために、ミーティングを定期的に行っています。

自分自身が経験したことを踏まえ、働きたくても働く場所がない女性に機会を提供し、そして、働きやすい環境づくりに注力しています。

子育てと家事を両立しながら働きたいと考える女性に、自分の持つ資格や特技を活かしつつ、日常生活の延長線である「片付けや掃除」に弊社秘伝のスパイスをちょっぴり加え、プロの仕事として行って貰っています。例えば、力自慢のスタッフには家具の解体をして貰ったり。聞き上手でリアクションも良く、秘書資格も持つスタッフには、一緒に作業しているお客様の話し相手になって貰ったりしています。

また、分別が苦手だったスタッフが、早く分別出来るようになったり、動線を考えた物の配置収納が出来るようになるなど、仕事で学んだノウハウを、そのまま家庭で活かすことも出来ています。



仲間と一緒に笑顔で働くために、職場環境を今よりもっと良くしたい

自他共に認める強烈な個性を持つ私のもとで、時には大変な現場に遭遇する事もありますが、こんな笑顔で作業できるのはやはり

- 1 気持ちをわかり合える同じ境遇の仲間がいる
 - 2 家事の延長線で仕事ができる
 - 3 個性を活かせる
 - 4 何よりも社会から必要とされている
- 4つのことが実感できるからかなと思います。

それから、直接お客様から、「ありがとう」とすごく言われるんです。スタッフもやりがいを持って、全員が頑張ってくれていると思っています。

私の現在の目標は、若い従業員が、これから安心して結婚して出産して、「一刻も早く戻ってまた仕事がしたい！」と思って貰えること。職場環境を今よりもっと、進化・充実させて迎えたいと考えております。

